様式１-１

小規模維持補修工事等地域維持型建設共同企業体入札参加資格申請書

　　年　　月　　日

長野県知事　様

共同企業体の名称

　　代表者の所在地

　　商号及び代表者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　構成員の所在地

　　商号及び代表者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　構成員の所在地

　　商号及び代表者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　構成員の所在地

　　商号及び代表者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　構成員の所在地

　　商号及び代表者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　構成員の所在地

　　商号及び代表者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

このたび、連帯責任によって長野県が発注する小規模維持補修工事等を行うため、上記のとおり共同企業体を結成したので、別添指定の資料を添えて当該工事の入札参加資格の審査を申請します。

　また、当該小規模維持補修工事等について、　年　月　日から解散するまでの間、次の権限を当共同企業体代表者に委任します。この場合の使用印は次のとおりです。

委　任　事　項

１　小規模維持補修工事等の遂行に関し、当企業体を代表して長野県と折衝する権限

２　小規模維持補修工事等の入札及び見積りに関する一切の権限

３　小規模維持補修工事等に係る代金の請求・受領に関する一切の権限

４　その他、小規模維持補修工事等に関し、諸届・諸報告の提出に関する一切の権限

|  |
| --- |
| 使　　用　　印 |

様式１-２

○○第　　　号

令和○○年（　　　年)○月○日

　　○○○○○共同企業体

　　　代表者　○○○○○○会社

様

代表取締役　○○　○○

長野県○○建設事務所長

地域維持型建設共同企業体入札参加資格の付与について（通知）

　令和○○年（　　　年)○月○日付けで申請のありました入札参加資格については、　下記のとおり認定しましたので通知します。

|  |
| --- |
| 長野県　○○建設事務所○○課  　　　○○○係  ○○○○　○○○○　○○○○  電　話  防災無線  ﾌｧｸｼﾐﾘ  E-mail |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　記

　１　資格付与する入札に係る対象工事等

　　　令和○○年度小規模維持補修工事等（施行体制確認型契約方式）

　２　資格付与期間　　令和○○年○月○日から令和○○年３月３１日

様式２-１-１

小規模工事用

小規模維持補修工事地域維持型建設共同企業体協定書[出資比率型]（案）

（目的）

1. 当企業体は、令和○○年度小規模維持補修工事〔道路、河川、砂防、都市公園〕（以下「工事」という。）を共同連帯して営むことを目的とする。

（名称）

1. 当企業体は○○共同企業体（以下「当企業体」という。）と称する。

（事務所の所在地）

1. 当企業体の事務所を　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　番地に置く。

（成立の時期及び解散の時期）

1. 当企業体は、令和　年　月　日に成立し、工事契約の履行後3ヶ月を経過するまでの間は、解散することができない。

２　工事を請け負うことができなかったときは、当企業体は、前項の規定にかかわらず、当該工事に係る工事契約が締結された日に解散するものとする。

（構成員）

1. 当企業体の構成員は、次のとおりとする。

所在地

商　号

代表者

所在地

商　号

代表者

所在地

商　号

代表者

（代表者の名称）

1. 当企業体は、　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　を代表者とする。

（代表者の権限）

1. 当企業体の代表者は、工事の実施に関し、当企業体を代表して、長野県と折衝する権限並びに自己の名義をもって入札書及び見積内訳書の提出、請負代金（部分払い金を含む。）の請求、受領及び当該団体に属する財産を管理する権限を有するものとする。

（構成員の出資の割合）

1. 各構成員の出資の割合は、次のとおりとし、工事に係る長野県との契約内容に変更増減があっても、構成員の出資の割合は変わらないものとする。

　　　　　　　○○株式会社　　　　　　　　　％

　　　　　　　○○株式会社　　　　　　　　　％

　　　　　　　○○株式会社　　　　　　　　　％

　　 ２　金銭以外の出資については、時価を参しゃくのうえ構成員が協議して評価するものとする。

（運営委員会）

1. 当企業体は、構成員全員をもって運営委員会を設け、業務の遂行に当たるものとする。

（構成員の責任）

1. 各構成員は、工事の請負契約の履行に関し、連帯して責任を負うものとする。

（取引金融機関）

1. 当企業体の取引金融機関は、　　　　　　　　　　とし、代表者の名義により設けられた別口預貯金口座によって取引するものとする。

（工事の分担）

1. 各構成員の工事の分担の詳細は、運営委員会で定める。

（構成員の必要経費の分担）

1. 構成員は、その分担工事の施工のため、運営委員会の定めるところにより、必要な経費の分担を受けるものとする。

（共通費用の分担）

1. 工事中に発生した共通の経費等については、分担工事額の割合により、運営委員会において各構成員の分担額を決定するものとする。

（決算）

1. 当企業体は、工事の完了時に決算するものとする。

（利益の配当の割合）

1. 決算の結果利益を生じた場合には、第8条に規定する出資の割合により構成員に利益を配当するものとする。

（欠損金の負担の割合）

1. 決算の結果欠損金が生じた場合には、第8条に規定する割合により構成員が欠損金を負担するものとする。

（権利義務の譲渡の制限）

1. 本協定書に基づく権利義務は他人に譲渡することはできない。

（請負期間途中における構成員の脱退に対する措置）

1. 構成員は、長野県及び構成委員全員の承認がなければ当企業体が工事を完了するまでは脱退することができない。

　２　構成員のうち工事期間途中において脱退した者（以下「脱退構成員」という。）がある場合においては、残存構成員が共同連帯して工事を完了する。

　３　脱退構成員があるときは、残存構成員の出資の割合は、脱退構成員が脱退前に有していた出資の割合を残存構成員の出資の割合により分割し、これを第8条に規定する割合に加えた割合とする。

　４　脱退構成員への出資金の返還は、決算の際に行うものとする。ただし、決算の結果欠損金を生じた場合には、脱退構成員の出資金から脱退構成員が脱退しなかったとした場合に負担すべき金額を控除した金額を返還するものとする。

　５　決算の結果利益を生じた場合において、脱退構成員には利益金の配当は行わない。

（工事期間途中における構成員の破産又は解散に対する措置）

1. 構成員のうちいずれかが工事期間途中において破産又は解散した場合においては、前条第2項から第5項までを準用するものとする。

（解散後の契約不適合責任）

1. 当企業体が解散した後においても、工事につき契約不適合があったときは、各構成員は共同連帯してその責に任ずるものとする。

（協定書に定めない事項）

1. この協定書に定めのない事項については、運営委員会において定めるものとする。

　○○株式会社外　　　者は、上記のとおり　　　　　　　　　　地域維持型建設共同企業体協定を締結したので、その証拠としてこの協定書　通を作成し、各通に構成員が記名捺印し各自所持するものとする。なお、１通は発注者提出用とする。

　　　年　　月　　日

　　　所　在　地

　　　商　　　号

　　　代　表　者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　所　在　地

　　　商　　　号

　　　代　表　者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　所　在　地

　　　商　　　号

　　　代　表　者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

様式２-１-２

除雪業務含む用

小規模維持補修工事等地域維持型建設共同企業体協定書[出資比率型]（案）

（目的）

第１条　当企業体は、令和○○年度小規模維持補修工事及び除雪並びに凍結防止剤散布業務〔道路、除雪、河川、砂防、都市公園〕（以下「工事等」という。）を共同連帯して営むことを目的とする。

（名称）

第２条　当企業体は○○共同企業体（以下「当企業体」という。）と称する。

（事務所の所在地）

第３条　当企業体の事務所を　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　番地に置く。

（成立の時期及び解散の時期）

第４条　当企業体は、令和　年　月　日に成立し、工事契約の履行後3ヶ月を経過するまでの間は、解散することができない。

２　工事等を請け負うことができなかったときは、当企業体は、前項の規定にかかわらず、当該工事等に係る契約が締結された日に解散するものとする。

（構成員）

第５条　当企業体の構成員は、次のとおりとする。

所在地

商　号

代表者

所在地

商　号

代表者

所在地

商　号

代表者

（代表者の名称）

第６条　当企業体は、　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　を代表者とする。

（代表者の権限）

第７条　当企業体の代表者は、工事等の実施に関し、当企業体を代表して、長野県と折衝する権限並びに自己の名義をもって入札書及び見積内訳書の提出、請負代金（部分払い金を含む。）の請求、受領及び当該団体に属する財産を管理する権限を有するものとする。

（構成員の出資の割合）

第８条　各構成員の出資の割合は、次のとおりとし、工事等に係る長野県との契約内容に変更増減があっても、構成員の出資の割合は変わらないものとする。

　　　　　　　○○株式会社　　　　　　　　　％

　　　　　　　○○株式会社　　　　　　　　　％

　　　　　　　○○株式会社　　　　　　　　　％

　　 ２　金銭以外の出資については、時価を参しゃくのうえ構成員が協議して評価するものとする。

（運営委員会）

第9条　当企業体は、構成員全員をもって運営委員会を設け、工事等の業務の遂行に当たるものとする。

（構成員の責任）

第10条　各構成員は、工事等の請負契約の履行に関し、連帯して責任を負うものとする。

（取引金融機関）

第11条　当企業体の取引金融機関は、　　　　　　　　　　とし、代表者の名義により設けられた別口預貯金口座によって取引するものとする。

（工事等の分担）

第12条　各構成員の工事等の分担の詳細は、運営委員会で定める。

（構成員の必要経費の分担）

第13条　構成員は、その分担工事等の施工のため、運営委員会の定めるところにより、必要な経費の分担を受けるものとする。

（共通費用の分担）

第14条　工事等の最中に発生した共通の経費等については、分担工事等の額の割合により、運営委員会において各構成員の分担額を決定するものとする。

（決算）

第15条　当企業体は、工事等の完了時に決算するものとする。

（利益の配当の割合）

第16条　決算の結果利益を生じた場合には、第8条に規定する出資の割合により構成員に利益を配当するものとする。

（欠損金の負担の割合）

第17条　決算の結果欠損金が生じた場合には、第8条に規定する割合により構成員が欠損金を負担するものとする。

（権利義務の譲渡の制限）

第18条　本協定書に基づく権利義務は他人に譲渡することはできない。

（請負期間途中における構成員の脱退に対する措置）

第19条　構成員は、長野県及び構成委員全員の承認がなければ当企業体が工事等を完了するまでは脱退することができない。

　２　構成員のうち工事等の期間途中において脱退した者（以下「脱退構成員」という。）がある場合においては、残存構成員が共同連帯して工事等を完了する。

　３　脱退構成員があるときは、残存構成員の出資の割合は、脱退構成員が脱退前に有していた出資の割合を残存構成員の出資の割合により分割し、これを第8条に規定する割合に加えた割合とする。

　４　脱退構成員への出資金の返還は、決算の際に行うものとする。ただし、決算の結果欠損金を生じた場合には、脱退構成員の出資金から脱退構成員が脱退しなかったとした場合に負担すべき金額を控除した金額を返還するものとする。

　５　決算の結果利益を生じた場合において、脱退構成員には利益金の配当は行わない。

（工事等の期間途中における構成員の破産又は解散に対する措置）

第20条　構成員のうちいずれかが工事等の期間途中において破産又は解散した場合においては、前条第2項から第5項までを準用するものとする。

（解散後の契約不適合責任）

第21条　当企業体が解散した後においても、工事等につき契約不適合があったときは、各構成員は共同連帯してその責に任ずるものとする。

（協定書に定めない事項）

第22条　この協定書に定めのない事項については、運営委員会において定めるものとする。

　○○株式会社外　　　者は、上記のとおり　　　　　　　　　　地域維持型建設共同企業体協定を締結したので、その証拠としてこの協定書　通を作成し、各通に構成員が記名捺印し各自所持するものとする。なお、１通は発注者提出用とする。

　　　年　　月　　日

　　　所　在　地

　　　商　　　号

　　　代　表　者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　所　在　地

　　　商　　　号

　　　代　表　者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　所　在　地

　　　商　　　号

　　　代　表　者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

様式２-２-１

小規模工事用

小規模維持補修工事地域維持型建設共同企業体協定書[分担工事型]（案）

（目的）

第1条　　当企業体は、令和○○年度小規模維持補修工事〔道路、河川、砂防、都市公園〕（以下「工事」という。）を共同連帯して営むことを目的とする。

（名称）

第2条　当企業体は○○共同企業体（以下「当企業体」という。）と称する。

（事務所の所在地）

第3条　当企業体の事務所を　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　番地に置く。

（成立の時期及び解散の時期）

第4条　当企業体は、令和　年　月　日に成立し、工事契約の履行後3ヶ月を経過するまでの間は、解散することができない。

２　工事を請け負うことができなかったときは、当企業体は、前項の規定にかかわらず、当該工事に係る工事契約が締結された日に解散するものとする。

（構成員）

第5条　当企業体の構成員は、次のとおりとする。

所在地

商　号

代表者

所在地

商　号

代表者

所在地

商　号

代表者

（代表者の名称）

第6条　当企業体は、　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　を代表者とする。

（代表者の権限）

第7条　当企業体の代表者は、工事の実施に関し、当企業体を代表して、長野県と折衝する権限並びに自己の名義をもって入札書及び見積内訳書の提出、請負代金（部分払い金を含む。）の請求、受領及び当該団体に属する財産を管理する権限を有するものとする。

（分担工事額）

第8条　各構成員の工事の分担は、次を基本とする。ただし、分担工事について発注者と契約内容の変更増減等のあったときは、それに応じて分担の変更があるものとする。

　　　　　　　○○地区　　　○○株式会社

　　　　　　　△△地区　　　△△株式会社

　　 ２　前項に規定する分担工事の価額（運営委員会で定める。）については、別に定めるところによるものとする。

（運営委員会）

第9条　当企業体は、構成員全員をもって運営委員会を設け、業務の遂行に当たるものとする。

（構成員の責任）

第10条　各構成員は、工事の請負契約の履行に関し、連帯して責任を負うものとする。

（取引金融機関）

第11条　当企業体の取引金融機関は、　　　　　　　　　　とし、代表者の名義により設けられた別口預貯金口座によって取引するものとする。

（工事の分担）

第12条　各構成員の工事の分担の詳細は、運営委員会で定める。

（構成員の必要経費の分担）

第13条　構成員は、その分担工事の施工のため、運営委員会の定めるところにより、必要な経費の分担を受けるものとする。

（共通費用の分担）

第14条　工事中に発生した共通の経費等については、分担工事額の割合により、運営委員会において各構成員の分担額を決定するものとする。

（決算）

第15条　当企業体は、工事の完了時に決算するものとする。

(構成員の相互間の責任の分担)

第16条　構成員がその分担工事に関し、発注者及び第三者に与えた損害は、当該構成員がこれを負担するものとする。

　　 ２　構成員が他の構成員に損害を与えた場合においては、その責任につき関係構成員が協議するものとする。

　　 ３　前2項に規定する責任について協議が整わないときは、運営委員会の決定に従うものとする。

　　 ４　前3項の規定は、いかなる意味においても第10条に規定する当企業体の責任を免れるものではない。

（権利義務の譲渡の制限）

第17条　本協定書に基づく権利義務は他人に譲渡することはできない。

（請負期間途中における構成員の脱退に対する措置）

第18条　構成員は、長野県及び構成委員全員の承認がなければ当企業体が工事を完了するまでは脱退することができない。

　２　構成員のうち工事期間途中において脱退した者（以下「脱退構成員」という。）がある場合においては、残存構成員が共同連帯して工事を完了する。

　　３　脱退構成員があるときは、残存構成員は、脱退構成員が脱退前に有していた分担工事を残存構成員により分担するものとする。

（工事期間途中における構成員の破産又は解散に対する措置）

第19条　構成員のうちいずれかが工事期間途中において破産又は解散した場合においては、第16条第2項、第3項、前条第2項および第3項の規定を準用するものとする。

（解散後の契約不適合責任）

第20条　当企業体が解散した後においても、工事につき契約不適合があったときは、各構成員は共同連帯してその責に任ずるものとする。

（協定書に定めない事項）

第21条　この協定書に定めのない事項については、運営委員会において定めるものとする。

　○○株式会社外　　　者は、上記のとおり　　　　　　　　　　地域維持型建設共同企業体協定を締結したので、その証拠としてこの協定書　通を作成し、各通に構成員が記名捺印し各自所持するものとする。なお、１通は発注者提出用とする。

　　　年　　月　　日

　　　所　在　地

　　　商　　　号

　　　代　表　者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　所　在　地

　　　商　　　号

　　　代　表　者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　所　在　地

　　　商　　　号

　　　代　表　者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

様式２-２-２

除雪業務含む用

小規模維持補修工事等地域維持型建設共同企業体協定書[分担工事型]（案）

（目的）

第１条　当企業体は、令和○○年度小規模維持補修工事及び除雪並びに凍結防止剤散布業務〔道路、除雪、河川、砂防、都市公園〕（以下「工事等」という。）を共同連帯して営むことを目的とする。

（名称）

第2条　当企業体は、○○共同企業体（以下「当企業体」という。）と称する。

（事務所の所在地）

第3条　当企業体の事務所を　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　番地に置く。

（成立の時期及び解散の時期）

第4条　当企業体は、令和　年　月　日に成立し、工事契約の履行後3ヶ月を経過するまでの間は、解散することができない。

２　工事等を請け負うことができなかったときは、当企業体は、前項の規定にかかわらず、当該工事等に係る工事契約が締結された日に解散するものとする。

（構成員）

第5条　当企業体の構成員は、次のとおりとする。

所在地

商　号

代表者

所在地

商　号

代表者

所在地

商　号

代表者

（代表者の名称）

第6条　当企業体は、　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　を代表者とする。

（代表者の権限）

第7条　当企業体の代表者は、工事等の実施に関し、当企業体を代表して、長野県と折衝する権限並びに自己の名義をもって入札書及び見積内訳書の提出、請負代金（部分払い金を含む。）の請求、受領及び当該団体に属する財産を管理する権限を有するものとする。

（分担工事等の額）

第8条　各構成員の工事等の分担は、次を基本とする。ただし、分担工事等について発注者と契約内容の変更増減等のあったときは、それに応じて分担の変更があるものとする。

　　　　[小規模維持業務]　　　　○○地区　　　○○株式会社

　　　　　　　　　　　　　　　　△△地区　　　△△株式会社

　　　　[除雪業務]　　　　　　 ○○地区　　　○○株式会社

　　　　　　　　　　　　　　　　△△地区　　　△△株式会社

　　　　[凍結防止剤散布業務]　 ○○地区　　　○○株式会社

　　　　　　　　　　　　　　　　△△地区　　　△△株式会社

　　 ２　前項に規定する分担工事等の価額（運営委員会で定める。）については、別に定めるところによるものとする。

（運営委員会）

第9条　当企業体は、構成員全員をもって運営委員会を設け、工事等の業務の遂行に当たるものとする。

（構成員の責任）

第10条　各構成員は、工事等の請負契約の履行に関し、連帯して責任を負うものとする。

（取引金融機関）

第11条　当企業体の取引金融機関は、　　　　　　　　　　とし、代表者の名義により設けられた別口預貯金口座によって取引するものとする。

（工事等の分担）

第12条　各構成員の工事等の分担の詳細は、運営委員会で定める。

（構成員の必要経費の分担）

第13条　構成員は、その分担工事の施工のため、運営委員会の定めるところにより、必要な経費の分担を受けるものとする。

（共通費用の分担）

第14条　工事等の最中に発生した共通の経費等については、分担工事等の額の割合により、運営委員会において各構成員の分担額を決定するものとする。

（決算）

第15条　当企業体は、工事等の完了時に決算するものとする。

(構成員の相互間の責任の分担)

第16条　構成員がその分担工事等に関し、発注者及び第三者に与えた損害は、当該構成員がこれを負担するものとする。

　　 ２　構成員が他の構成員に損害を与えた場合においては、その責任につき関係構成員が協議するものとする。

　　 ３　前2項に規定する責任について協議が整わないときは、運営委員会の決定に従うものとする。

　　 ４　前3項の規定は、いかなる意味においても第10条に規定する当企業体の責任を免れるものではない。

（権利義務の譲渡の制限）

第17条　本協定書に基づく権利義務は他人に譲渡することはできない。

（請負期間途中における構成員の脱退に対する措置）

第18条　構成員は、長野県及び構成委員全員の承認がなければ当企業体が工事等を完了するまでは脱退することができない。

　２　構成員のうち工事等の期間途中において脱退した者（以下「脱退構成員」という。）がある場合においては、残存構成員が共同連帯して工事等を完了する。

　　３　脱退構成員があるときは、残存構成員は、脱退構成員が脱退前に有していた分担工事等を残存構成員により分担するものとする。

（工事期間途中における構成員の破産又は解散に対する措置）

第19条　構成員のうちいずれかが工事等の期間途中において破産又は解散した場合においては、第16条第2項、第3項、前条第2項および第3項の規定を準用するものとする。

（解散後の契約不適合責任）

第20条　当企業体が解散した後においても、工事等につき契約不適合があったときは、各構成員は共同連帯してその責に任ずるものとする。

（協定書に定めない事項）

第21条　この協定書に定めのない事項については、運営委員会において定めるものとする。

　○○株式会社外　　　者は、上記のとおり　　　　　　　　　　地域維持型建設共同企業体協定を締結したので、その証拠としてこの協定書　通を作成し、各通に構成員が記名捺印し各自所持するものとする。なお、１通は発注者提出用とする。

　　　年　　月　　日

　　　所　在　地

　　　商　　　号

　　　代　表　者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　所　在　地

　　　商　　　号

　　　代　表　者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　所　在　地

　　　商　　　号

　　　代　表　者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印